

いちご栽培管理 (H31.5.)

(有) 丸 富

4月は寒暖差が激しかったものの、雨が少なく、日中は初夏のような暑さだった。麦の開花頃は暑いくらいに気温が上がったこともあり、スリップス、アブラムシの発生が多かった。

軟果対策

果実温度が上がると果実が柔らかくなるので、早朝の涼しい時間に収穫する。

軟果対策にスーパーカル雅 1ℓ (又はウルカル 500 cc) / 10a とサンミネーラ 100 cc / 10a を灌水する。

病害対策

遠日点の新月頃は蛾類など病害が発生しやすいので、作物の生育と病害に注意する。

病害の事前対策にサンミネーラ 1,000～2,000 倍 と時を越えた贈り物 1,000～2,000 倍を葉面散布する。

品質(食味)向上

開花から収穫までの期間が短くなると、果実は酸味が増す。灌水時に肥料だけでなく、微量元素も補給して、品質(食味)の向上を図る。

品質(食味)向上に時を越えた贈り物 200～300 cc / 10a と天然ミネラル 200～300 cc / 10a とサンミネーラ 50～100 cc / 10a を 7～10 日毎に灌水する。

※ 天然ミネラルの代わりに、海藻のエキス 50 g、スーパーカル雅 500 cc、ウルカル 300 cc でもいい。

親株の病害対策

苗半作と言われるように、健全な親株から苗採りすることが大切。病害が多発する前に、健全な親株の育成を心掛ける。

健全な親株の育成にハイプロ 50ℓ (2袋) / m を培土に混ぜる。

親株に天地の恵み 500 倍とサンミネーラ 5,000 倍を 1～2 回葉面散布、又は灌注する。

ランナー発生促進

親株が栄養生長状態になると、ランナー分化が進み、ランナーが多く発生する。

ランナー発生促進に天地の恵み 500 倍 (又はバイオシャングリーン 500 倍) とシリカアップ 10,000 倍とサンミネーラ 10,000 倍を 1ヶ月に 2 回、灌注 (又は散水) する。

追肥(液肥)

収穫終了の 7 日前まで少量多回数で追肥する。施用量は土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥	1～2ℓ / 10a	} 5～7 日毎に灌水する場合 ※状況に応じて加減する
時を越えた贈り物(又は天地の恵み)	200～300 cc / 10a	
サンミネーラ	50～70 cc / 10a	
バイオアクト TS	50～70 cc / 10a	

※サンミネーラの代わりに、シリカアップ 100 cc、海藻のエキス 50 g、天然ミネラル(微量元素) 300 cc でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24 時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)